

全国安全週間準備期間中に鹿嶋労働基準監督署長が建設現場の安全パトロールを実施しました！

令和8年6月23日



安全を確認する岡本署長(左側)

説明を受ける岡本署長(左側)

熱中症対策を確認する岡本署長(右側)

鹿嶋労働基準監督署（署長 岡本新吾）は、全国安全週間準備期間となる6月23日に五洋建設株式会社東京建築支店が施工する、レイズネクスト株式会社鹿島事業所再構築工事の安全パトロールを実施しました。

当該工事は、地上4階建て鉄骨造の事務所やその他建屋の新築、既存建屋の解体を行う工事であり、パトロール当日は、建設現場における安全対策や熱中症対策、高所からの墜落・転落災害の防止対策等について確認を行いました。

建設現場における安全対策として、デジタルサイネージを活用した朝礼やラジオ体操、熱中症の注意喚起が行われていました。また、のぼり旗でも熱中症の注意喚起を行っているほか、各職長にWBGT値の測定器を配布し、作業場ごとの作業環境の把握に努めていました。

各請負作業者が実施したKY活動の内容を、元請の統括安全衛生責任者が1枚1枚確認し、良いものには丸や花丸を付ける等、活動を形骸化させない工夫がなされていました。

また、現場で作業する労働者の安全宣言を現場の見やすい箇所に配置し、各労働者の安全意識向上に力を入れていました。

熱中症対策として、涼み場（涼しい休憩室）を作業現場と休憩所の間に設けて、熱中症防止タブレットや飲料水を常備していたほか、作業現場の付近に給水所を設けて、スポットクーラーを配置する等、各所に水分や塩分の補給と体温を下げる対策が施されていました。

墜落・転落防止対策として、枠組み足場の設置や墜落制止器具の着用のほか、脚立や立ち馬の使用時の「ながら昇降禁止」の表示を行うなどの注意喚起が行われていました。

鹿嶋労働基準監督署では引き続き全国安全週間を契機とした事業場の安全衛生活動のより一層の充実と関係者の安全意識の高揚を図る取組みを推進していきます。

【連絡先】鹿嶋労働基準監督署

電話：0299-83-8461